



▲目標をグラウンドに掲げ、懸命に練習する選手たち

青空の下、声を掛け合いながら全力で白球を追いかける球児たち。小坂町のグラウンドで練習に励むのは創部15年を迎えた市内唯一の中学生軟式野球クラブ「三原浮城ベースポールクラブ」の選手です。同クラブは昨年11月に山口県で行われた全日本少年秋季軟式野球中国大会で優勝しました。レギュラーの多くを占めた3年生が引退し、1・2年生だけの新チームで大会に臨みましたが、試合経験者がチー

ムを引っ張り、全ての試合を1点差で競り勝つ勝負強さを見せました。キャプテンの森本凌平さん(幸崎中学校2年)は「強みはチームワーク」と話します。いつも声掛けを大切にし、特に試合の流れが悪いときは気付いた人が全体に声を掛けて自分たちを盛り上げます。「全員で戦うという意識を持つ」ことがチームのめざす姿です。試合後は出場した選手もそうでない選手もチームや自分の良かったところと悪かったところを話し合い、全体で共有しています。全ての選手がいつでも試合に出られる状態であるためです。

野球ができる環境を作ってくれている周りの人や場所に感謝し、毎年地域の清掃活動にも参加しています。「自分たちが野球をできるのは周りの

人たちのおかげ」と声をそろえる選手たち。クラブ方針の中にもある「感謝の気持ち」を大切にし、持ち前のチームワークで目標の全国制覇に向け、一丸となります。



※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

情熱 × 若者

ミハラのチカラ

STORY 32

チークワークを大切に

めざせ全国制覇

三原浮城ベースポールクラブの皆さん

朝日を浴びて出漁

撮影エピソード 撮影者 ただおさむ 棚田 修さん

赤く染まる海霧の中を1隻の漁船が漁場をめざして進みます。ほかでは見られないこの光景はとても素晴らしいです。



●撮影年月 平成30年12月
●撮影場所 稲荷神社(須波二丁目)

写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 秘書広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ